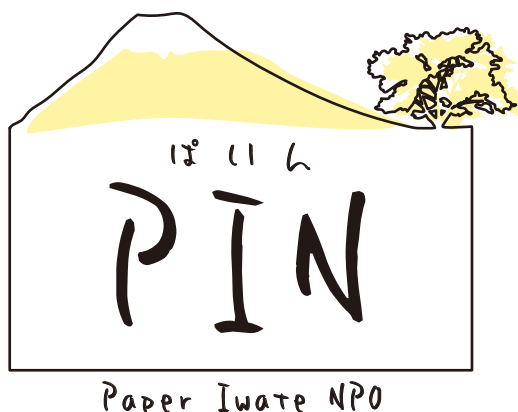


2022 vol.1



「ボランティア」 NPOのはじめの一歩!

● 連携事例集

● 「NPO×行政」「NPO×企業」

● ユース世代に聴いてみよう

● 岩手県からのお知らせ

● 岩手県社会福祉協議会

● ボランティア・市民活動センター

● からのお知らせ

● 活動から生まれたもの紹介
「へこうさんのデニムバッグ」

インクルこども食堂で
お弁当を準備する
ボランティアの方々

はじめの一步！ 「ボランティア」

市民活動に関心がある・地域に貢献したい、でもどう始めればいいのか？具体的な取組とボランティアに参加する方の声を紹介します。



認定NPO法人インクルいわて
インクルこども食堂
理事長の山屋理恵さん、事業統括の川守田栄美子さん、ボランティアの皆さんに伺いました。

様々な人が 参加できる居場所づくり

インクルこども食堂は、震災後の2012年から内陸避難母子の居場所づくり活動として開始し、今年で11年目になる取組です。2016年に「インクルこども食堂」と名付けました。親子はもちろんのこと、子どもだけでなく、どなたでも参加できます。

来た人に寄り添いながら、「誰でも安心して立ち寄れる居場所」を目指し、地域やボランティアの方々と一緒に取り組んでいます。近年はコロナ禍のため、食料品の提供やお弁当を持ち帰るスタイルに変えて月1回開催しています。

特技を活かして

ボランティアの年代や参加のきっかけは様々で、現在は学生を含め、90名以上がインクルこども食堂のボランティアに登録しています。ボランティアの皆さん

は個性豊かな特技や思いをお持ちなので、参加される皆さんがそれぞれの力を活かせるよう意識しています。食事だけでなく、相談・遊び・学習・地域交流などを組み合わせた場になっているので、調理以外にも様々なプログラム（裏メニュー）がつくられています。

協働でいろいろな体験を

コロナ禍では、ドライブスルー方式の食品提供の場として、企業から駐車場をお借りしました。また、学生ボランティアが通う大学に子どもたちが訪問し、交流しながら一緒に栄養科学や語学を学ぶなど、大学の協力を得て、家庭生活だけではできない体験を創出する協働の取組も進んでいます。

社会課題の解決につながる仕組みをつくるためには、NPOや企業にとどまらず多様な年代・特技を持つボランティアが、関心を持って関わってくれることがと

でも重要だと考えています。それぞれの力を持ち寄り、皆で意識と行動をアップデイトしながら場を作りあげること、誰もが参加できる地域づくりが実現できると思っています。



たくさんの利用者さんがこども食堂を利用しています！

ボランティア インタビュー

6月26日に開催されたこども食堂「ドミノ」であそぼう！」にボランティアとして参加された方々に、ボランティア活動を始めたきっかけや、実際に参加して見た感想などを伺いました。



親子食堂のドキュメント番組を見て関心が湧き、インターネットで検索して見つけました。両親の介護に追われていますが、参加することで自分の時間が持て、世界も広がると感

じています。（照内緑子さん・会社員）



人のためになつていけると感じる事ができるので、社会に出ても続けたいです。好奇心で惹かれたものには直感で従うことがボランティアに参加する第一歩になると思います。（工藤未琴さん・高校3年生）



スタッフと知り合いだったのがきっかけです。参加してみると、数居は高いし自分が取り組むやすいところから始められると思



関心を持った時にSNSで問い合わせができたので気軽に動き出せました。ボランティアどうしのつながりができたことが嬉しいですが、自分でもこども食堂に取り組み準備を進めています。（藤井大地さん・大学4年生）



有機農法で作る野菜を提供していましたが、調



インクルいわて
サイト→

認定NPO法人 インクルいわて

2011年に設立し、「家族のカタチにかかわらず、誰もが生き生きと暮らしている包摂された社会（Inclusive Society）の実現」をビジョンに掲げて様々な活動を行っています。
令和3年度子どもと家族若者応援団表彰
子育て・家族支援部門内閣総理大臣表彰



子どもの居場所ネットワークいわて

岩手県内で子どもの居場所の輪を広げていくことを目的に、官民協働で設立されたネットワークです。各地で子ども食堂や子どもの居場所づくり取り組む団体や活動、ボランティア情報を発信しています。



子どもの居場所ネットワークいわてサイト→

NPO活動交流センター こう使おう！

NPO活動交流センターでは、ホームページで「ボランティア情報」を発信しています。ボランティア情報を探したい・掲載したい、どちらにもご活用いただけます。情報の掲載をご希望の際はセンターまでご連絡ください。

参加したい人は



NPO活動交流センター
TEL：019-606-1760
MAIL：n-katsu@aiina.jp

岩手県NPO活動交流
センター サイト→



連携事例集

Case study

事例1

互いの得意不得意を補完し合う

地域課題の解決や社会貢献のための様々な活動について、NPO 単独で行うのではなく、企業や行政と連携・協働することで新たな成果が生まれています。岩手県内のそんな事例をご紹介します。

宮古地域では、企業の垣根を越えて地域内の新社会人を対象とした合同研修「ルーキーズカレッジ」や、採用側の情報交換等を目的とした「経営者・人事担当者向けセミナー」を開催し、官民協働で若者の職場定着に向けた取組を行っています。「ルーキーズカレッジ」の始まりは、NPO 法人みやこベースが若い世代の主体的な社会活動をサポートする中で、若者の早期離職という課題解決に動き出したことでした。同じ課題意識を持っていた宮古市も、産業支援を行う行政の立場から地域企業へ参加を呼びかけるなどで連携し、お互いの得意分野を重ねながら事業を進めています。

市からは「NPO との連携により市の得意分野や動きにくい部分に気付かせられ、具現化できていなかったことが実践できるようになった」と、取組をきっかけとして、地域内のキャリア教育等、新たなネットワークの検討も進んでいます。課題解決に地域全体として動く姿勢が生まれ始めています。

ルーキーズカレッジとは

宮古市内の中小企業では、採用が小規模で不定期なこともあり、新卒で入社する同期社員が社内にはいない場合があります。同年代の社員の繋がりの少なさから、孤独感や悩みを抱えがちになり、最終的に離職してしまうケースもあるそうです。そこで、同年代の社員が社内にはいないなら地域で繋がりを作ればいい！と、地域内の新社会人を集めた合同研修の場を作りました。それがルーキーズカレッジ。一緒に学び、相談し合い、将来像を描いています。



NPO × 行政

令和4年度第1回
ルーキーズカレッジ
(7/13 開催)の様子



NPO 法人みやこベース
×
宮古市産業支援センター

事例2

双方の想いをつなげるプロジェクト

株式会社ミチノクでは、売上げの一部が認定NPO 法人桜ライン311へ寄付される社会貢献型自動販売機の設置を進めています。この連携事業を始めたきっかけは、社員が震災後にホームページなどを見て桜ラインの活動を知り、会社として賛同したことでした。営業の際には、この取組がセールスポイントになることもあるそうです。現在は、桜ラインが主催する植樹会へも社員が定期的に参加して

ます。今年3月には社内の全拠点から参加者を募って10名が参加しました。ミチノクの担当者、営業部の朝日田さんは「最初は社内のごく一部で始めた活動でしたが、自動販売機設置と植樹会参加が連動し、会社全体にこのプロジェクトの理解が広がっていると感じています。」と話してくださいました。

植樹会への参加の様子



NPO × 企業



認定NPO 法人桜ライン311
×
株式会社ミチノク

株式会社ミチノク
上野昭則社長(右)と
桜ライン岡本翔馬
代表(左)

2020年1号機

陸前高田市たまご村に設置
実際に植樹された桜を施した
オリジナルデザイン



2022年2号機

北上市さくらPORT・
PARKING に設置

設置オーナー会社が活動に興味をもってくださったことで実現

自販機の変遷



2022年3号機

陸前高田市
キャピタルホテル1000 に設置

活動に賛同する企業の連携で実現。宿泊料の一部が桜ラインの活動に寄付されるプランを実施中

盛岡大学
ボランティア委員会
結・You・ツイッター ↓



吉清水洗平さん(2年生)

結に参加して知的好奇心も刺激され、興味の幅が広がったと感じています。「この人がやっているから参加してみよう」というきっかけでも良いと思います。

代表・宮下彩名さん(3年生)

活動は多岐にわたり、様々な世代と関わり、新しい出会いや経験を楽しんでいます。参加を迷う人には「誰かと一緒に参加してみる」ことが第一歩になるはずです。盛岡や滝沢周辺でのボランティアのニーズがあればぜひ直接ご連絡ください！

活動交流センターの親子フェスティバルやサイバー防災ボランティア活動などを行っています。また、結の活動を知った方々からお声がけをいただき、花壇整備や高齢者支援などにも活動の幅を広げています。

「結」とは、2012年に盛岡大学で震災ボランティア活動を目的として結成された学生サークルで、普段は地域やボランティアの方々とともにイベントの企画や運営方法を考えています。令和4年度は盛岡大学と盛岡短期大学の学生合わせて145名が所属し、盛岡や滝沢をフィールドに、青少年



盛岡大学ボランティア委員会
結・You-

18歳から35歳までのユース世代の活動とインタビューをお届けします。

ユース世代に
聞いてみよう

認定NPO法人取得・更新情報

新たに認定特定非営利活動法人として認定された法人をご紹介します！

特定非営利活動法人フードバンク岩手



「連携」をキーワードに、県民をはじめ、行政、社会福祉団体、民間企業、農家、子ども食堂の運営団体やボランティア団体などと連携し、フードバンク事業、困窮者支援事業、社会参加促進事業などの活動を行っています。
今後、認定NPO法人として税制優遇制度を活用し、より多くの方々の支援をいただきながら活動していきたいと思ひます。

理事長 伊勢 昭一
盛岡市上ノ橋町 1-50 岩織ビル 3F-7
認定NPO法人フードバンク岩手サイト→



2014年10月1日 任意団体として活動開始
2015年1月19日 NPO法人格を取得
2022年6月20日 認定特定非営利活動法人に認定される

認定NPO法人を目指しませんか？

認定NPO法人（特例認定NPO法人）は、一定の基準を満たしているNPO法人として税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは下記問合せ先まで。

岩手県若者女性協働推進室 認定NPO法人専門員 019-629-5199

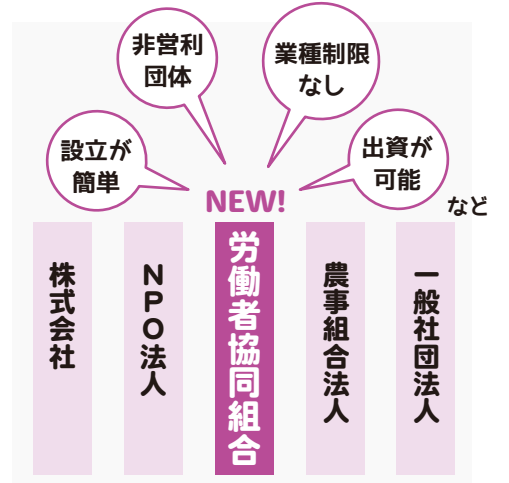
令和4年10月1日「労働者協同組合法」が施行されます！

労働者協同組合法は、労働者協同組合の設立や運営、管理などについて定めた法律です。

労働者協同組合は、**非営利活動を行う新たな法人格**として、以下の3つの基本原理に従い、協働労働により、地域コミュニティを活性化するとともに、持続可能で活力ある地域社会に貢献することが期待されています。

- 【基本原理】
1. 組合員が出資すること
 2. 事業を行うに当たり組合員の意見が適切に反映されること
 3. 組合員が組合の行う事業に従事すること

※一定の要件を満たした労働者協同組合については、NPO法人と同様に一部の税が免除されます。



施行から**3年以内**に限り、NPO法人及び企業組合から労働者協同組合への**組織変更が可能**です。組織変更にあたっては、必要な手続を行った上で、NPO法人の残余財産を引き継ぎ、非営利活動に使用することができます。

相談窓口
労働者協同組合法や設立（組織変更）の手続等については、相談窓口へお問い合わせください。

労働者協同組合法 相談窓口
フリーダイヤル 0120-237-297
(土日祝日年末年始を除く 9時～17時)

関連サイト
仕組みの詳細をまとめた特設サイトや、相談窓口一覧もご覧ください。



特設サイト
知りたい！労働者協同組合法



厚生労働省 WSB サイト
都道府県窓口一覧

ボランティア体験イベント今年も始まりました！

イツ・ア・スマイルワールド 2022

ボランティア体験 in いわて

岩手県内各地で、子どもから大人まで誰でも参加できるボランティア活動を集めました。主に高齢者、障がい者、子ども、各種イベントなどに関するボランティアをご紹介します。お好きな方法で、ボランティアを探してみてください。

体験期間：令和4年 6月1日～令和5年 1月31日

検索・参加方法その1

パソコン・スマホから ボランティア体験 in いわて

検索・参加方法その2

最寄りの社会福祉協議会の窓口に
「ボランティア体験 in いわてに参加したい」とご相談ください。



体験例1 あそびの達人 … 青少年活動交流センター



昔ながらの遊び等を体験するイベントにおいて、楽しいコーナーの企画や当日の運営等を行ってまいります。

募集人員 5人
期日・時間 令和5年1月15日（日）
活動場所 いわて県民情報交流センター（アイーナ）

体験例2 2022 シーズン運営ボランティア … いわてグルージャ盛岡



来場者誘導、チケット確認、検温、消毒、スタジアム内設営作業、撤去作業などを行ってまいります。

募集人員 10人程度
期日・時間 令和4年6月5日（日）～
活動場所 いわぎんスタジアム

体験例3 スノーバスターズ体験 … 西和賀町スノーバスターズ



高齢者・障がい者世帯等に訪問し、除雪作業を通して雪に対する不安の解消や安否確認を行ってまいります。

募集人員 随時募集
期日・時間 令和4年12月～
活動場所 西和賀町内の雪かきを必要とする方のご自宅

お問合せ先

岩手県社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター

TEL:019-637-4483 FAX:019-637-7592



ずっぱりボランティアいわてサイト

活動から 生まれたもの 紹介

活動の中から生まれた様々な商品があります。そのストーリーや作る側の想いをご紹介します。興味が湧いたらぜひ実物を見に出かけてみてください！

ペコラさんの デニムバッグ

一関市室根に、自然に囲まれた福祉作業所があります。「ペコラビレジ」の愛称で呼ばれ、ほまれの会が運営しています。「人は皆、羊（ペコラ）のように群れる生き物。決して1匹ではいられない、何処かに属したい、癒されたいと願っている。一人では小さい存在だとしても、力を合わせそれぞれの個性に輝きと働き（ラボーレ）が与えられるように」との思いを込め、名付けました。

ここで作られているのが、使うほど味の出る丈夫なデニムバッグです。グループホーム入居者の特技を活かしたいと考え、縫製経験のある職員や気仙沼市のオイカワデニムさんの協力がつながって生まれた商品です。利用者の特性に合わせて作業を割り振り、色合いの異なる生地を配置し、様々なサイズやデザインのデニムバッグを制作・販売しています。希望に合わせたオーダーやデニムのエプロン・帽子などの依頼も相談可能です。



お求めはこちら！

ラボーレペコラ

一関市室根町津谷川葛ヶ沢 142
TEL 0191-65-2200

道の駅むろね

一関市室根町折壁字向山 131-9
TEL 0191-34-4180



2017年7月
活動開始。グループ
ホーム、B型就労継
続支援、相談支援な
どを行っている。

一般社団法人ほまれの会（ペコラビレジ）

岩手県一関市室根町津谷川葛ヶ沢 145-5
TEL 0191-65-2200 / FAX 0191-65-2201

NPOのための専門家無料相談会

NPO活動で生じる疑問や不安について専門
家がお答えする無料相談会を開催します。

NPO 活動交流
センターからの
お知らせ

登記事務

に関する相談など



11月22日（火）

司法書士：小山田泰彦さん

税務処理・申告

に関する相談など



9月27日（火）

12月20日（火）

税理士：丹代一志さん

働き方・労務

に関する相談など



10月28日（金）

令和5年1月26日（木）

社会保険労務士：菅原かおりさん

対象：岩手県内の NPO 法人・非営利型一般社団法人

会場：NPO 活動交流センターまたはオンライン

時間：10:00～16:00 で1団体当たり最長45分（事前予約制・先着順）

お問合せ / お申込み：NPO 活動交流センター TEL:019-606-1760 E-mail:n-katsu@aiina.jp

編集後記

PINをお読みいただきありがとうございます。今年度のPINは内容をお色直しし、協働事例集など新しいコーナーを設けました。今年度全3回を通じて県内の様々な団体・取組をご紹介します。す。（担当者も新しくなりました！）読者の皆さまに楽しんでいただける冊子になるよう頑張ります。今回、特集や各コーナーの取材でご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

関心を持った活動がありましたら団体や企業のホームページなどぜひ見ていただきたくです。また、PINの感想がありましたらNPO活動交流センターまでお寄せください。お待ちしております！

(N・S)